

芭蕉元禄事業 奥の細道むすびの地「大垣」十六万市民俳句ポスト

平成二十六年七月度 入選句 (投稿総数二千百三十八句・小中学投句数千六百十二句)

特選

選者 和田 勝子

つばめの子母におそわる虫とりを 大垣市 高石 稔(小六)

かわいらしい句ですね。成長したつばめさん。これからは 独力で過ごしていかななくてはなりませんものね。しっかり観察をされ、つばめの親子の様子をよくとらえ詠まれましたね。人間と同様、やはり身近かな人になり教わり一人前になつていくのですね。とても細かい面に目を向けて詠んでいらつしやる様子が伺われます。親つばめも子つばめがしっかり成長してくれますようにと願つて教えている様子等、本当によく詠まれました。すてきですね。「親子の絆」がよく表現されていますね。

暗やみにホタルの光さみしげに 大垣市 森 友 菜(小六)

夕暮れ時から、ホタルの飛び交う近くを通られたのでしようね。友達同士又は、親子でしょうか。手をつないだり会話したりしてるかの如く仲よく飛び交う様子はすばらしいですね。ほたるをしっかりと追つかけて観察をしていらつしやるのですね。ちよびり気になるほたるさんに目が向き詠まれたのですね。やつぱり元気に飛び交うほたるさんはいいですね。よく観て詠まれてますね。

水まんじゅうつるつと口にながれこむ 大垣市 城田 桃花(小六)

水の都大垣の夏の名物菓子ですね。暑い日にはとつても好まれるお菓子ですね。口に入れた瞬間を素直に詠まれ感動されてる様子が伝わってきます。暑い時は、やはり冷たい物を誰もが好み涼をとられます。身体に合わせてよい日々になりますように。

秀逸

夏祭り音に合わせて盛り上がる	大垣市	加納 歩武(小六)
入道雲ねらつてふりぬくホームラン	大垣市	浅井 優 (小六)
空に行く打ち上げ花火夢のせて	大垣市	津谷 幸治郎(小六)
原ばくききようふと悲しみ思い出す	大垣市	立川 明佳(小六)
ふうりんが音色かなでる演そう会	大垣市	中西 美羽(小六)
雨上がり葉から雫がお引っこし	大垣市	名和 千尋(小六)
初めての発表会は梅の味	大垣市	林 明日香(小六)
かき氷たべるとあたまかちんこちん	大垣市	山田 なな子(小六)
つばめの子ぼくだぼくだと親をよぶ	大垣市	川瀬 大志(小五)
ふうりんをそよそよ風がおしている	大垣市	はつとり しょうま(小四)

入選

ふらふらとなれない足どり盆踊り 大垣市 浅野 絢女(小六)

盆 踊り 心が和む一時を 大垣市 稲葉 洗季(小六)

だっぴしたセミも太陽暑いのか 大垣市 上垣 采椰(小六)

たんざくに書いた願いとどくかな 大垣市 小川 遥加(小六)

入道雲母のいかりひびく声 大垣市 藤本 芽生(小六)

夏の夜蚊が耳元でささやいて 大垣市 森武 莉子(小六)

暗やみに咲いては消える打ち上げ花火 大垣市 吉田 倭伽那(小六)

おいしいなひやつとつめたいかきごおり 大垣市 槌谷 祐斉(小六)

ごみばこがアイスのごみでたいへんだ 大垣市 石田 りょう(小六)

こうしえんもえる心にホームラン 大垣市 奥野 柚月(小四)

入選

父の日になやんできめたプレゼント 大垣市 岡田 里緒(小六)

原爆忌 帰らぬ人を思ふ時 大垣市 櫻井 富貴(小六)

雨蛙はすの上からジャンプした 大垣市 山田 空知(小六)

ツバメたち低い所で虫さがし 大垣市 高木 健匠(小五)

たのしそうみんなでわいわいバーベキュー 大垣市 林 一瑛(小三)

なつやすみしゆくだいっぱいでるのかな 大垣市 今 勇 絆(小二)

なつのかわザーザーながれすずしいな 大垣市 堀 ひなた(小二)

太陽がジリジリ照りつけ肌がす 大垣市 端元 りら(小六)

恥ずかしげ真っ赤な顔のさくらんぼ 大垣市 神田 真友子(小六)

世界中ワールドカップでわいている 大垣市 宮脇 悠承(小六)

選者吟

手枕の腕のしびれの昼寝覚め

勝子